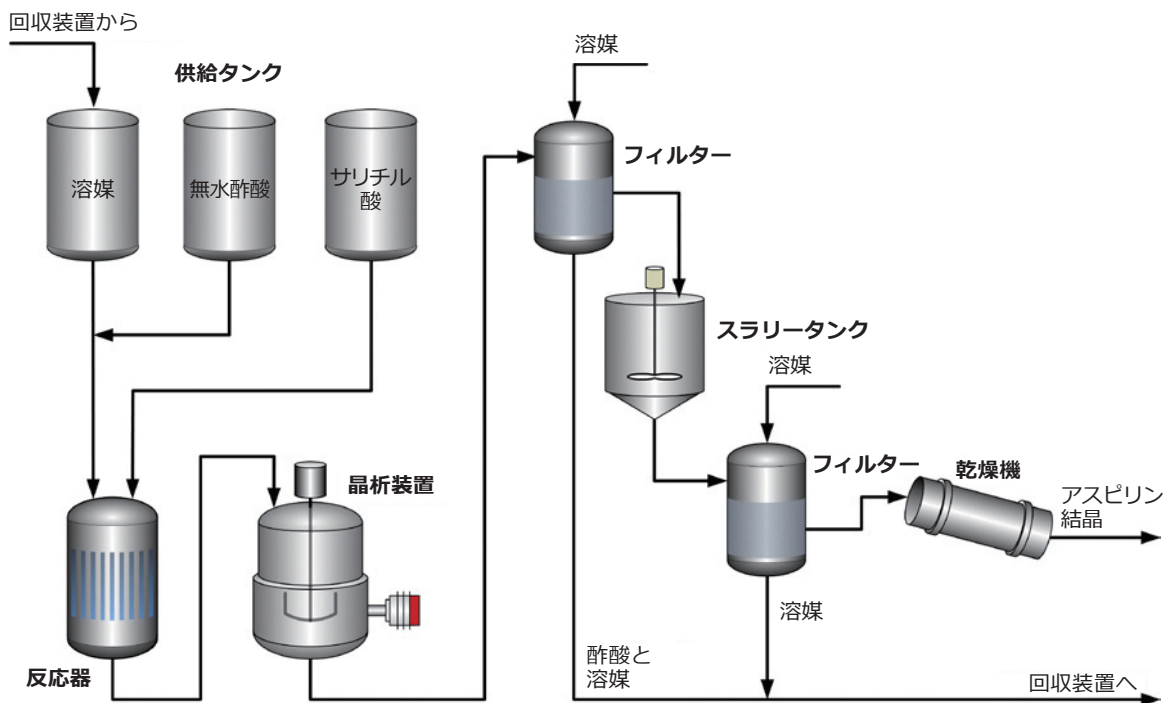


アセチルサリチル酸 (アスピリン)

アスピリンの結晶化 | 6.02.02



代表的な最終製品

- アスピリン

概要

アスピリン、別名アセチルサリチル酸は、最も広く販売されている市販薬です。製造プロセスでは、グラスライニング容器内でサリチル酸と無水酢酸を反応させます。生成された液体は晶析装置にポンプで送られ、そこで冷却されてアスピリンへの結晶化が開始されます。次に、アスピリンをろ過して酢酸と溶媒を除去します。これらは回収され、場合によってはリサイクルされます。その後、結晶は洗浄され、再度ろ過されて、乾燥後に、ふるい分け、造粒、錠剤化の工程に送られます。

用途


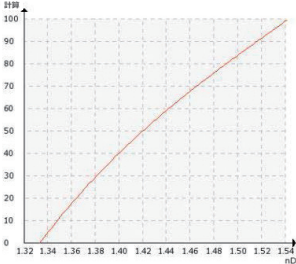
ヴァイサラ PR-23-AP プロセス屈折率計は、アスピリン結晶化における液相の選択的計測値を取得するのに非常に効果的です。本屈折率計は、結晶形成が始まると生じる液体濃度の大幅な低下を即座に検知し、一貫した結晶化制御を実現します(アプリケーションノート『医薬品における結晶化』も参照)。

計装と設置

本プロセス屈折率計は、真空晶析装置に直接設置します。独自のデジタル操作により、晶析装置内に存在するアス

ピリンの結晶や気泡の影響を受けない母液の実際の濃度を計測します。必要に応じて、本質安全防爆構造認定を取得したモデルもご提供できます。

本プロセス屈折率計は理想的なリアルタイム計測機器であり、PATやGAMP、CIP/SIP、21 CFR Part 11、バリデーションなど、製薬業界の規格と規制に準拠しています。屈折率(nD)などのパラメータを計測および制御する機能を備え、効果的な医薬品の開発と製造プロセスに大きく貢献します。PR-23 屈折率計は、プロセス接液部品の材料、シーリング、表面粗さに関する医薬品製造規制に準拠しています。

計装	説明
	<p>PR-23-AP サニタリープローブ屈折率計は、大型のパイプやタンク、調理器、晶析装置、釜への設置用の衛生設計であり、150°Cまでの高温に対応しています。PR-23-AP 屈折率計は、2.5インチまたは4インチのサニタリークランプ、Iクランプ、APVタンク下部フランジ、またはVarinline® 接続を介してパイプラインまたは容器に取り付けます。</p>
計測範囲	<p>屈折率 (nD) 1.3200~1.5300、Brix値0~100に対応します。</p>
化学曲線 	<p>Brix値に対する屈折率 (基準温度20°C)</p>

VAISALA

www.vaisala.com/ja

詳細は以下よりお問い合わせください。
www.vaisala.com/ja/lp/contact-form

Ref. B212533JA-A ©Vaisala 2022

本文書は著作権保護の対象となっており、全ての著作権はヴァイサラと関連会社によって保有されています。無断複写・転載を禁じます。本文書に掲載されているすべてのロゴおよび製品名は、ヴァイサラまたは関連会社の商標です。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（複製、送信、頒布、保管等を含む）することは、事前に当社の文書による許諾がないかぎり、禁止します。技術的仕様を含め、全ての仕様は予告なく変更されることがあります。